

<問題 - - (2): 道 路 >

1 . 道路法で規定されている道路の種類として、誤っているものを a ~ d のなかから
選びなさい。

- a . 一般国道
- b . 主要地方道
- c . 都道府県道
- d . 市町村道

2 . 長さ 12m、幅 2.5m、高さ 3.8m で定義される設計車両を a ~ d のなかから選びなさい。

- a . 普通自動車
- b . セミトレーラ連結車
- c . 軽自動車
- d . 小型自動車

3 . 道路の区分により定義されていないものを a ~ d のなかから選びなさい。

- a . 設計基準交通量
- b . 設計速度
- c . 設計車両
- d . 視距

4 . 将来交通量の推計方法のひとつである四段階推定法の順序として、正しいものを
a ~ d のなかから選びなさい。

- a . 発生交通量 分布交通量 分担交通量 配分交通量
- b . 分布交通量 発生交通量 分担交通量 配分交通量
- c . 発生交通量 分担交通量 分布交通量 配分交通量
- d . 分担交通量 発生交通量 分布交通量 配分交通量

5 . 道路の種類、道路の存する地域、道路の存する地区で道路の区分（種級）が決定されるものを a ~ d のなかから選びなさい。

- a . 第 1 種の道路
- b . 第 2 種の道路
- c . 第 3 種の道路
- d . 第 4 種の道路

6 . 横断面を構成する要素のうち、第 4 種の道路が選択できないものを a ~ d のなかから選びなさい。

- a . 停車帯
- b . 非常駐車帯
- c . 植樹帯
- d . 中央帯

7 . 路肩の分類で、車両の走行に大きな影響を与えない側方余裕幅が確保され、また乗用車等の小型自動車が停車可能なものを a ~ d のなかから選びなさい。

- a . 全路肩
- b . 半路肩
- c . 狭路肩
- d . 保護路肩

8 . 積雪地域に存する道路で、除雪を勘案して定める横断面構成の要素のうち、誤っているものを a ~ d のなかから選びなさい。

- a . 車線
- b . 中央帯
- c . 路肩
- d . 自転車歩行車道及び歩道

9. 曲線部の片勾配を算定するとき用いないものを a ~ d のなかから選びなさい。

- a. 路面の横滑り摩擦係数
- b. 自動車の速度 (設計速度)
- c. 曲線半径
- d. 曲線長

10. 道路事業の実施にあたり住民などとの合意形成を図る手法を a ~ d のなかから選びなさい。

- a. C A D
- b. P I
- c. C A L S
- d. V E

11. 道路の平面緩和曲線に活用されているクロソイド曲線の式のうち、正しいものを a ~ d のなかから選びなさい。

(A ; クロソイドパラメータ、 L ; クロソイド曲線長、 R ; 曲線半径)

- a. $A = R^2 L$
- b. $A^2 = (R L)^2$
- c. $A^2 = R L$
- d. $A = R L$

12. 舗装構成順序として、正しいものを a ~ d のなかから選びなさい。

- a. 表層 - 基層 - 中間層 - 路盤 - 路床
- b. 表層 - 基層 - 中間層 - 路床 - 路盤
- c. 表層 - 中間層 - 基層 - 路盤 - 路床
- d. 表層 - 中間層 - 基層 - 路床 - 路盤

13. 舗装の破損について、主に構造上の原因によるものを a ~ d のなかから選びなさい。

- a . 摩耗
- b . 線状ひび割れ
- c . わだちぼれ
- d . 亀甲状ひびわれ

14. 雨水流出量の算出式（合理式：下記）に用いる数値の次元について、正しいものを a ~ d のなかから選びなさい。（ $Q=m^3/s$ ）

$$\text{合理式} \quad Q = \frac{1}{3.6 \times 10^6} C \cdot I \cdot a$$

C : 流出係数、I : 降雨強度、a : 集水面積

- a . C (無次元) I (mm/h) a (m^2)
- b . C (無次元) I (mm/h) a (km^2)
- c . C (mm) I (mm/s) a (m^2)
- d . C (無次元) I (mm/s) a (km^2)

15. 「道路土工：擁壁工指針（(社)日本道路協会）」を準拠した擁壁設計において、一般に地震の影響を考慮する必要のある擁壁高として、正しいものを a ~ d のなかから選びなさい。

- a . 6 m以上
- b . 7 m以上
- c . 8 m以上
- d . 9 m以上

16. 地滑り抑止対策として、適切でないものを a ~ d のなかから選びなさい。

- a . 地下水排除工
- b . 押え盛土工
- c . アンカー工
- d . パーチカルドレーン工

17. ボックスカルバート設計の説明として、適切でないものを a ~ d のなかから選びなさい。

- a . 設計に用いる活荷重は、T 荷重を用いるのが一般的である。
- b . 土被りの小さい場合には、継手を車道下に設けるべきである。
- c . 道路に対する斜角は、通常 60° 以上とするべきである。
- d . ウィングとハンチとは、原則として同厚とする。

18. 道路管理における有効なツールとして調整される地理情報システムの名称として、正しいものを a ~ d のなかから選びなさい。

- a . G P S
- b . E T C
- c . G I S
- d . S X F

19. のり面・斜面管理の点検において、適切でないものを a ~ d のなかから選びなさい。

- a . 日常点検は、道路パトロール車等から視認可能な範囲を目視で点検することである。
- b . 防災点検は、斜面の状況、既設対策工の効果、災害履歴等を定期点検の中で実施することである。
- c . 定期点検は、年 1 回程度、徒歩にて近接目視点検をすることである。
- d . 臨時点検は、地震・降雨等の後に実施し、日常・定期点検を補完することである。

20. 道路事業の環境影響評価について、正しいものを a ~ d のなかから選びなさい。

- a . 現行の「環境影響評価法」は、平成 9 年から全面施行されている。
- b . 方法書は、スクリーニングの前段階で作成する。
- c . 高速自動車国道は、すべてが第一種事業であり、環境影響評価を実施しなくてはならない。
- d . 一般国道は、すべてが第一種事業であり、環境影響評価を実施しなくてはならない。